

フランス語の同時性の時況節

曾 我 祐 典

0. はじめに

フランス語では、周知のように、「事態 P があるとき事態 Q がある」ということをしばしば〈*quand P, Q*〉や〈*Q quand P*〉で表す⁽¹⁾。ただし、P が展開中（進行中）の事行を含む事態（以下、「展開中の事態」）である場合は、P を半過去形（以下、「IMP」）で表す時況節が主節に先行する〈*quand IMP, Q*〉の容認度が低いとされることがある。たとえば西村（2011, 172）は、「フランス語を母語とする人たちからダメ出しされることの多い文」として（1）を示し、「*pendant que, comme, alors (tandis) que, un jour que (...)* なら問題ない」と述べている。実際、（1）についてインフォーマントも容認度が低いと評価する⁽²⁾。（2）についても同様の評価である。

(1) ?Quand je me *promenais* dans la forêt, j'ai rencontré mon professeur.

(2) ?Quand elle *traversait* la cour, un vigile l'*apostropha*.

しかし、〈*quand IMP, Q*〉が語り *récit* に散見するのも事実であり、たとえば（3）、（4）をインフォーマントは容認する。

-
- (1) *lorsque* は、本稿で扱う問題に関して *quand* とほぼ同様のはたらきをもつ関係辞と見なせるので、区別して論じることをしない。
- (2) 本稿に示す発話例のうちで出典を記していないものは、インフォーマントの協力を得て作成したものである。インフォーマントは Olivier Birmann 氏（元関西学院大学）、Jean-Paul Honoré 氏（元 Université Paris-Est）、Adriana Rico-Yokoyama 氏（関西大学）の 3 人で、長時間の面談を通じて多くの示唆を得ることができた。

- (3) Vers dix heures, quand nous *descendions* les Champs-Élysées, je me suis demandé si la nuit tomberait jamais et si ce ne serait pas une nuit blanche comme en Russie et dans les pays du Nord.

(P, Modiano, *Dans le café de la jeunesse perdue*, 134)

- (4) Quand elle lui *racontait* cet incident au téléphone, son mari lui a fait signe de se taire ; quelques-uns de leurs amis qui étaient là commençaient à l'entendre, à tourner la tête vers elle.

主節に先行する *quand* IMP の容認度が他の時況節とちがって低いとされることがある理由は、まだ十分に明らかになっていない。その解明に向かって前進するために、本稿では、おもな時況節として *alors que* P, *tandis que* P, *comme* P, *pendant que* P の四つを取りあげ⁽³⁾、P が過去の事態で時況節が主節に先行する場合について、それらと *quand* P のはたらきを明らかにすることをめざす。

1. 時況節としての使用

ここでは、*alors que* P, *tandis que* P, *comme* P, *pendant que* P の四つと *quand* P について、発話者が Q の実現や展開・持続の時間的状況を表すためにそれぞれをどの程度用いるか見ておく。

まず、*alors que* P と *tandis que* P であるが、この二つには共通点が多い。主要構成要素である *lors* と *tandis* がそれぞれ時間的意味の *illa hora* (à cette heure-là) と *tamdiu* (aussi longtemps) に由来するにもかかわらず、よく指摘されるように⁽⁴⁾、現在ではおもに Q に対立する事態を表すために用いる。ときに時況節として用いることがあるが、それはあらたまった語りの文体や古めかしい文体の場合にかぎられる。

(3) Togeby (1982) も IMP をよく用いる時況節としてこれら四つをあげている (t. II, 366)。

(4) たとえば、P. Dupré (1972), t. I, 105, t. III, 2497.

次に、**comme P**である。**comme**は様態副詞 **quomodo** (**de quelle manière, comment**)に由来する関係辞であり、発話者はおもに観念的領域において **Q**に類似する事態や **Q**の理由となる事態を表すために用いる。時況節として用いるのは、**Moline (2006, 88)**も指摘するように、相手に観念的状況節と受け取られるおそれのない場面や文脈においてである。また、原則として **P**が過去の事態であるときであり、あらたまった語りの文体や古めかしい文体の場合にかざられる。**comme P**の時況節としての使用頻度は非常に低いことになる。

動詞 **pendre**の現在分詞に由来する **pendant**は、中世の法曹が訴訟手続きについて「処理中、進行中」を表すために用いたことから次第に関係辞としての用法が定まったとされている。**pendant**は名詞グループを従えうるので、**pendant que P**は〈**pendant + que P**〉のように分析することができる。**pendant que P**は、まれに **Q**に対立する事態や **Q**の条件となる事態を表すために用いることがあるが、たいていは時況節として用いる。さらに、上の三つとちがって、文体的制約がない。

quandは、時間的意味の **quando**に由来する。発話者は、**quand P**をまれに **Q**に対立する事態などを表すために用いることがあるが、時況節としてあらたまった語りの文体からくだけた文体まであらゆる文体において頻繁に用いる。

2. 時況節 **alors que P, tandis que P, comme P**

ここでは、時況節としての使用がかざられている三つを取り上げよう。**alors que P, tandis que P**と **comme P**に分けて、発話者が表す **P**と **Q**のあいだの時間的關係がどのようなものかを見ていこう。

2.1. 時況節 **alors que P, tandis que P**

文学作品や研究文献・文法書などの例を見ると、**alors que P**と **tandis que**

P のはたらきがよく似ていることが分かる。したがって、ここではまとめて検討することにしよう。どちらの場合も、P は展開・持続中の事態であり、Q は発話者が実現の始めから終わりまでの全体を総括的にとらえる、一般に短時間で実現する出来事である。P と Q のあいだに見られる時間的關係は、「P が展開・持続しているあいだに Q の実現があった」という、P の時間幅に Q の実現時間が含まれる関係である。〈*alors que P, Q*〉と〈*tandis que P, Q*〉の例として、それぞれ (5) - (7) と (8) - (10) を見よう⁽⁵⁾。

- (5) Alors que nous faisons la queue devant les caisses, mon beau-père m'a avoué qu'il n'avait pas mis les pieds dans une grande surface depuis plus de dix ans. (A. Gavalda, *Je l'aimais*)
- (6) Un dimanche soir, alors que je regardais un film à la télévision, le téléphone sonna dans mon petit bureau. (A. W., *Hymnes à l'amour*, 145)
- (7) Quelques jours auparavant, alors que Myriam discutait de ses recherches avec son amie Emma, celle-ci s'est plainte de la femme qui gardait ses enfants. (L. Slimani, *Chanson douce*, 16)
- (8) Tandis que je leur disais à tous bonsoir, elle me désigna un inconnu perché sur un tabouret qui, depuis déjà un long moment, me dévisageait. (A. W., *Studieuse*, 229)
- (9) Dans la voiture, tandis que nous suivions l'avenue de Suffren, vers les quais, j'ai ressenti la même appréhension que devant le concierge de nuit. (P. Modiano, *Un cirque passe*, 58)
- (10) Après le déjeuner, tandis que Cortez et moi passions des appels de nature juridique liés à la visite des assistantes sociales, je décidai de me changer les idées en m'exerçant un peu à mes sorts. (K. Armstrong, *Magie de pacotille*)

(5) 出典の略号 A. W. は Anne Wiazemsky を、*Studieuse* と *Après* はそれぞれ作品名 *Une année studieuse* と *Un an après* を示す。

Togebly (1982) は、時況節 *alors que P* が主節に先行するのは、発話の冒頭に時間的意味の語句がある場合にとくに多いと述べている (II, 370)。実際、(6), (7) のように時間的位置づけの表現を冒頭に用いる発話は少なくない。このことは、ある程度まで時況節 *tandis que P* についても言え、(10) はその一例である。

〈*alors que P, Q*〉と〈*tandis que P, Q*〉の例の中には、まれに (11), (12) や (13), (14) のように、*Q* も展開・持続する事態と見なせるものがある。つまり、*P* と *Q* のあいだに、「*P* が展開・持続しているあいだ *Q* が展開・持続していた」という、*P* の時間幅に *Q* の時間幅が重なる関係が認められることがある。(12) では、「夜がふけるにつれて *J* の元気が衰える」というように *P* の展開に *Q* が連動していて、両者の時間幅は完全に重なっている。これらの場合は *P* だけでなく主節の *Q* も IMP で表すのが普通である。

(11) Alors qu'elle racontait le remariage de sa sœur aînée, Pierre revoyait la scène de la veille.

(12) Alors que la nuit avançait, l'énergie de Jeffrey déclinait. Au moment où le ciel commença à s'éclaircir, il était complètement épuisé. (R. Cook, *Avec intention de nuire*, 279)

(13) Tandis que nous traversions la cour avec le chien, elle nous suivait des yeux.

(14) Tandis que nous nous faufilions sans trop de peine en direction de la rue Saint-Jacques, Pierre racontait sa journée.

(A. W., *Studieuse*, 56)

alors que P と *tandis que P* の場合、*P* の事行は完結型か持続型が多いと言える。*P* を表すために用いる過去時制としては、おもに IMP であり、単純過去形は容認されない。

2.2. 時況節 *comme P*

では、発話者が *comme P* によって表す *P* と *Q* のあいだの時間的關係は、

どのようなものだろうか。文学作品や研究文献・文法書などの〈comme P, Q〉の例を見ると、Pは展開・持続中の過去の事態であると言える⁽⁶⁾。

一方、Qはたいいてい短時間に実現した出来事である。PとQのあいだには、「Pが展開・持続しているあいだにQの実現があった」という、Pの時間幅にQの実現時間が含まれる関係が認められる。その例をいくつか見ておこう。

(15) Comme Marie arrivait, Pierre sortit. (Moline 2006, 77)

(16) Comme nous nous apprêtions à sortir dîner, il l'invita à se joindre à nous. (A. W., *Studieuse*, 62)

(17) Comme elle s'éloignait un peu de la vitre, pour mieux voir, elle heurta l'épaule de Simon qui s'était rapproché et la retint par le coude sur l'estrade. (F. Sagan, *Aimez-vous Brahms...*)

(18) Comme elle demandait à un serveur qu'on lui apporte une serpillière, la patronne se précipita pour offrir ses services.

しかし、Qは、例外的に(15'), (19)のように展開・持続する事態であることがあり⁽⁷⁾、そのときは「Pが展開・持続していて、そのあいだQが展開・持続していた」という、Pの時間幅にQの時間幅が重なる関係が認められる。とくに(19)では、上で見た(12)と同じように、Pの展開にQが連動していて、両者の時間幅は完全に重なっている。これらの場合はPだけでなく主節のQもIMPで表すのが普通である。

(15') Comme Marie arrivait, Pierre sortait. (Moline 2006, 77)

(19) Comme la fièvre montait, elle tremblait de plus en plus.

Moline (2006, 74)も指摘するように、Pの事行は完結型のことが多く、持続型も見られるようだ⁽⁸⁾。それを表すために用いる過去時制は、たいいてい

(6) Pの展開・持続は、始まりの時点も終わりの時点も定かでないと言えそうである。

(7) Moline (2006)によれば、comme Pは上の(15)では時況節としか受け取れないのに対して、(15')では理由節とも受け取れる。(19)でも理由節という解釈が可能である。

(8) Pの事行がaのように「ある場所にいる」という一時的状態である発話は容認 7

IMP である。

3. 時況節 *pendant que P*

すでに述べたように、関係辞 *pendant* は名詞グループまたは *que P* を従える。ここでは、まず〈*pendant* 名詞グループ, *Q*〉の場合を概観し、それを踏まえて〈*pendant que P, Q*〉の場合の *P* と *Q* のあいだの時間的關係がどのようなものであるか見ていこう。

3.1. 〈*pendant* 名詞グループ, *Q*〉

発話者が *pendant* につづく名詞グループで表す *P* は、事態 (*son séjour, la discussion, etc.*) だけでなく、時間量 (*trois mois, toute la journée, etc.*) や時期 (*la semaine précédente, l'hiver, etc.*) のこともある。

発話者が *pendant* によって表す *P* と *Q* のあいだの關係としては、次の二つが認められる。一つ目は、(20) のように *P* が時間量の場合に認められる「*P* のあいだ *Q* が展開・持続した」という、*P* の時間幅に *Q* の時間幅が重なる關係である。

(20) *Alizard a le sens des affaires. Pendant trente ans, il a conduit un poids lourd entre la France et la Pologne.*

(L. Slimani, *Chanson douce*, 209)

このような *P* は、当然ながら時間的位置を表さないのので、発話者が *pendant P* によって *Q* の時間的位置を示すことはない。

二つ目は、*P* が (21) のように時期である場合または (22) のように事態である場合に認められる「*P* の持続のあいだに *Q* の実現があった」という、

↘ されるが、b のように人生のかなりの期間にわたって持続する状態である発話は容認されない：a. *Une dizaine de jours avant la distribution des prix, comme Joanny Lénio se trouvait dans la cour des récréations, il s'entendit appeler par Santos Iturria.* (V. Larbaud, *Fermina Márquez*, 139) ; b. **Comme elle était petite, elle passa un temps chez sa tante en Belgique.*

P の時間幅に Q の実現時間が含まれる関係である。

- (21) *Pendant la première demi-heure, elle se rendit compte qu'il évi-
tait délibérément d'orienter la conversation sur Erin.*

(M. Higgins Clark, *Recherche jeune femme aimant danser*, 133)

- (22) *Pendant le premier rendez-vous, l'homme a raconté sa vie aux
avocats, un récit émaillé de mensonges, d'exagérations évidentes.*

(L. Slimani, *Chanson douce*, 188)

P が時期の場合は、時間的位置を表すか否かによって二つに大別できる。le week-end dernier や la nuit du 4 au 5 mai のように時間的位置を表すときは、発話者は pendant P によって Q の時間的位置を示すことができる。しかし、(21) の la première demi-heure や la nuit, la saison des pluies のように時間的位置を表さないときは、相手が共有知識や先行文脈などから P の時間的位置を理解する場合を除けば、pendant P によって Q の時間的位置を示すことはできない。P が事態の場合も la guerre de 14-18 のように時間的位置を表すか la guerre のように表さないかによって二つに大別でき、同じことが言える。

3.2. 〈pendant que P, Q〉

文学作品や研究文献・文法書などの〈pendant que P, Q〉の例を見ると、P は展開・持続中の事態であると言える⁽⁹⁾。

一方、Q は発話者が実現の始めから終わりまでの全体を総括的にとらえる短時間の出来事であることが多い。P と Q のあいだによく認められるのは、「P が展開・持続しているあいだに Q の実現があった」という、P の時間幅に Q の実現時間が含まれる関係である⁽¹⁰⁾。

(9) *comme* P の場合とは反対に、P の展開・持続は、始まりの時点と終わりの時点が定かであり、発話者は P の展開・持続の全体を視野に収めていると考えられる。

(10) (25) の場合は、(26)–(28) の場合と同じく、P と Q の時間幅が重なるという解釈も可能である。

- (23) Pendant qu'elle *traversait* la cour, un vigile l'*apostropha*.
 (24) Pendant que vous *déjeuniez* dans la cuisine, on a *apporté* ce colis
 (25) Pendant que nous *faisions* la queue devant le cinéma, Jean-Luc nous *avait parlé* des étudiants chinois expulsés d'URSS.

(A. W., *Studieuse*, 81-82)

Q は、ときとして展開・持続する事態のことがある。つまり、「P が展開・持続しているあいだ Q が展開・持続していた」という、P の時間幅に Q の時間幅が重なる関係が認められることがある。その場合は、(26)、(27) のように時況節と主節の両方に IMP を用いることが多い。

- (26) Pendant qu'elle *ouvrait* le dossier qui contenait ses quelques notes sur sa mère, ses mains *tremblaient*.
 (27) Pendant que je *plaidais* sa cause, Nadja se *frottait* à elle.

(A. W., *Studieuse*, 56)

- (28) Pendant que le père *disait* la prière, les enfants *sont restés* debout.

P の事行は完結型または持続型が原則であると考えられる⁽¹¹⁾。P を表すために用いる過去時制は、IMP が普通である。

上で見た *alors que P*, *tandis que P*, *comme P* の場合も *pendant que P* の場合も、P と Q のあいだに認められるのは、たいていは P の時間幅に Q の実現時間が含まれる（まれに P の時間幅に Q の時間幅が重なる）という関係である。P の時間幅を容器に見立てれば、その容器の外側に Q があつたりはみだしたりすることはない。Q はたいていは P の時間幅の内側で一部分を占める（まれに P の時間幅にすっぽりはまる）のだから、「P の時間幅に Q が収まる」という言いかたができるだろう。

(11) インフォーマントは、P の事行が人生のかなりの期間にわたって持続する状態である *Pendant qu'elle *était* enfant, elle a *connu* un garçon qui s'appelait Pierre. のような発話を容認しない。

4. 時況節 *quand* P

quand P の場合は、これまで見てきた四つの時況節の場合とちがって、P の時間幅に Q が収まるという関係を表すとはかぎらない。以下では、〈*quand* P, Q〉の例に即してそのことを見ていこう。

4.1. P の時間幅に Q が収まる場合

まず、四つの時況節の場合と同じく、P が展開・持続する事態で、P の時間幅に Q が収まるという関係を表す例を見よう。Q の時間幅が P の時間幅より短い (P に Q が含まれる) 場合と P の時間幅に等しい (P に Q が重なる) 場合が区別できる。

4.1.1. P の時間幅に Q の実現時間が含まれる

次の (29), (30) は、上で見た (3), (4) によく似た例である。「0. はじめに」で述べたように、P が展開中の事態であるときは〈*quand* IMP, Q〉の容認度が低いとされることがあるが、インフォーマントは (29), (30) のどちらも容認する。

(29) *Quand* il *essayait* d'expliquer la raison de son geste, sa mère ne *dissimula* pas son agacement.

(30) *Quand* elle lui *racontait* cet incident au téléphone, son mari lui a *fait* signe de se taire ; quelques-uns de leurs amis qui étaient là *commençaient* à l'entendre, à tourner la tête vers elle.

これらの例の P は展開中の事態であり、Q は「彼の母親がいら立ちを露わにする」、「彼女の夫が黙るように合図する」という、短時間に実現した出来事である。P と Q のあいだに認められるのは、「P が展開しているあいだに Q の実現があった」という、P の時間幅に Q の実現時間が含まれる関係である。

次の (31), (32) の場合、P は展開中の事態ではなく、人生のかなりの期

間にわたって持続する状態である。

(31) Quand elle *était* enfant, elle *a connu* un garçon qui s'appelait Marcel.

(32) Quand nous *avons* douze ans, nous *avons vécu* un temps chez nos grands-parents à Kyoto.

これらの主節の Q は、「彼女が M という少年と知り合う」、「私たちが京都の祖父母の家でしばらく過ごす」という、P に比べてはるかに短時間・短期間で実現した出来事である。P と Q のあいだには、「P があるあいだに Q の実現があった」という、P の時間幅に Q の実現時間が含まれる関係が認められる。

(29) - (32) は、P の時間幅に Q が収まるという関係が認められる典型的な例と考えてよいだろう。

4.1.2. P の時間幅に Q の時間幅が一致

こんどは、P の時間幅に Q の展開・持続の時間幅が重なる場合である。次の (33) - (35) は、Borillo (1988, 89) が反復事態でない P の例として示すものである。

(33) Quand il *traversait* la rue, tout le monde le *suivait* des yeux.

(34) Quand la salle *était* vide, elle *était* beaucoup plus sonore.

(35) Quand il *était* malade, j'*étais* moi-même à l'étranger.

(33) では、「彼が通りを横切る」という P も「皆が彼を目で追う」という Q も、しばらく展開する事態である。(34) では、「ホールが空っぽである」という P も「それ (=ホール) がはるかに音響がいい」という Q も、一時的状態である。(35) の P と Q も一時的状態である。これらの P と Q は、ある程度の時間幅があり、両者のあいだには「P が展開・持続しているあいだに Q が展開・持続していた」という、P の時間幅に Q の時間幅が重なる関係が認められる。

次の (36) は (33) - (35) に近い例と見なすことができる。

- (36) Quand Ferreri appela, j'étais aux côtés de Jean-Luc et je tenais l'écouteur. (A. W., *Après*, 217)

小説のこの場面では、P は「F が電話をかけてきた」という瞬間的な出来事ではなく、「F が (J.-L. と) 電話で話した」という、実現にある程度の時間がかかった出来事である。そして、主節の二つの Q は、P の実現にともなう je (= Anne) の一時的状態 Q 1 と持続的事態 Q 2 である。P と Q 1, Q 2 のあいだに見られるのは、「P の実現時間のあいだ Q 1, Q 2 の持続があった」という、P の時間幅と Q 1, Q 2 の時間幅が重なる関係である。

次の (37), (38) の P を Borillo (1988, 73, 88) は恒常的状态と見なしている。実際、「私 (彼) が若い」という P は、人生のかなりの期間にわたって持続する状態である。

- (37) Quand j'étais jeune, j'étais sportif.

- (38) Quand il était jeune, il ressemblait à son père.

「私がスポーツ好きである」、「彼が父親似である」という Q の方も、ある特性を有するというかなりの期間にわたる状態である⁽¹²⁾。P と Q のあいだには、「P の持続に並行して Q の持続があった」という、P の時間幅と Q の時間幅が重なる関係が認められる。

次の (39) - (41) も Borillo (1988, 84-85) が示すものだが、P の開始時点が問題になる例ではないとしている。

- (39) Quand il traversa la rue, tout le monde le suivit des yeux.

(12) Borillo は Quand il était jeune, il allait en vacances à la mer. も示している。Q は反復事態 (出来事の繰り返しの集合) である。小説から収集した Quand il (= Jean-Luc Godard) s'adressait à Blandine, il le faisait avec délicatesse et courtoisie. (A. W., *Studieuse*, 52) の場合は、P も Q も反復事態である。このように P と Q が反復事態である例は、他の時況節の場合にもまれではあるが見られる (En nous voyant, son visage s'illuminait et tandis que mon frère courait jouer avec ses petits camarades, nous reprenions aussitôt la discussion interrompue la veille. (A. W. *Un saint homme*, 35) ; Pendant qu'il débattait avec Francis, il se retournait fréquemment vers moi pour me regarder avec amour, avec fierté. (A. W., *Studieuse*, 48))。P と Q が反復事態の場合の時間的關係については、本稿では論じない。

(40) Quand il parla, tout le monde l'écoula en silence.

(41) Quand il écoula l'orateur, il éprouva une certaine gêne.

たしかに、P は「彼が通りを横切る」, 「彼が話をする」, 「彼が弁士の話を聞く」という、発話者が実現の始めから終わりまでの全体を総括的にとらえる短時間の出来事である。対応する Q は、P と同時に実現した出来事である。P と Q のあいだには、「P の実現と並行して Q の実現があった」という、P の時間幅と Q の時間幅が重なる関係が認められる。

(33) – (41) も、上で見た (29) – (32) と同じく、P の時間幅に Q が収まるという関係が認められることになる。

4.2. P の時間幅に Q が収まらない場合

こんどは、*quand* 以外の四つの時況節の場合には見られなかった、P の時間幅に Q が収まらない例を見ていこう。P と Q が同時の場合と同時でない場合が区別できる。

4.2.1. P と Q が同時

ここで検討する〈*quand* P, Q〉の例には、4.1.1. で見たのとは反対の関係が認められる。たとえば (42) – (47) の場合、P は展開・持続中の事態ではなく、すべて短時間に実現した出来事である。

それに対して、Q の方はさまざまである。まず、(42), (43) を見てみよう。

(42) Quand il traversa le pont, le soleil se couchait. (Borillo 1988, 73)

(43) Quand Jean entra, Michel regardait la télé. (Vogeleer 1997, 213)

Q は、「太陽が沈む」, 「M がテレビを見る」という、しばらく展開する事態である。P と Q のあいだには、P の実現時間が Q の時間幅に含まれるという関係が認められる。

次に、(44) – (47) を見よう。

(44) Quand il lui parla, il ignorait tout de la situation.

(Borillo 1988, 77)

(45) Lundi 6 mars, quand l'assistant stagiaire *vint* me chercher, j'avais le teint blafard et les traits tirés. (A. W., *Studieuse*, 176)

(46) Quand Jean *déménagea*, Michel *avait* 11 ans.

(Vogeleer 1997, 214)

(47) Quand je les *ai connus* en Syrie, leurs parents *étaient morts* depuis quelques jours.

Q は, (44), (45) では一時的状態, (46) では人生のかなりの期間にわたって持続した状態, (47) ではある時点から持続していた恒常の状態である。どの場合も, 短時間に実現した出来事である P に比べて, Q はより長く持続した事態である。P と Q のあいだには, P の実現時間が Q の時間幅に含まれるという関係が認められる。

では, 次の場合はどうだろうか。

(48) Quand elle *sortit* dans le jardin, la neige *se mit* à tomber.

(42) - (47) の場合とちがって, (48) の Q は, 展開する事態でも持続する状態でもなく, 「雪が降り出す」というごく短時間に実現した出来事である。P と Q については, 「庭に出る」という P の事行の主体 *elle* の視点からではなく, 発話者 (語り手) の立場からとらえ, 時間幅ではなく時点を問題にしている。認められるのは, P の実現時点に Q の実現時点が一致するという関係である。

以上から, (42) - (48) には P の時間幅に Q が収まるという関係が認められないことになる。

4.2.2. P が Q に先行または後行

〈*quand* P, Q〉には, P も Q も短時間に実現した出来事で, 両者の実現時点が同じでない例もある。P が Q に先行する場合と後行する場合に分けて見ていこう。

4.2.2.1. P が Q に先行

P が Q に先行する例として、まず (49) – (53) を見よう。

(49) Quand elle a rencontré Pascal par hasard, elle a vu cela comme un signe. (L. Slimani, *Chanson douce*, Folio, 22)

(50) Quand il m'aperçut, il courut à ma rencontre et me serra dans ses bras. (A. W., *Studieuse*, 35)

(51) Quand il apprit le verdict, il décida de faire appel. (Borillo 1988, 84)

(52) Quand elle est arrivée, les autres nounous du square ont gardé leurs distances. (L. Slimani, *Chanson douce*, 212)

(53) Quand le téléphone sonna, elle se leva d'un bond et se précipita vers le bureau.

(49) は「彼女は偶然 P に出会って (P), そのことをひとつの兆候と見た (Q)」ということで、P の終わりに Q の始まりがつづいている。(50) は「彼は私の姿を見て (P), 駆け寄り (Q1), 私を抱きしめた (Q2)」ということで、P の終わりに Q1 の始まりがつづき、Q1 の終わりに Q2 の始まりがつづいている。(51), (52) の場合も、P の終わりに Q の始まりがつづいている。(53) の「鳴る」という事行は持続型だが、文脈から、発話者が表しているのはそれが始まったという出来事だと解釈される。つまり、「電話が鳴りだす」という P の終わりに Q1 の始まりがつづき、Q1 の終わりに Q2 の始まりがつづいているのである。(49) – (53) のすべてについて、「P の実現につづいて Q の実現があった」という、P の実現時点が Q の実現時点に先行する関係が認められる。

次の (54), (55) の主節には、それぞれ副詞句 *tout de suite*, *aussitôt* が見られる。

(54) Quand il lui a posé la question, elle a répondu tout de suite.

(55) Quand elle se tourna vers lui, il comprit aussitôt qu'elle ne plaisantait pas.

これらの副詞句は、Pの実現時点に対してQの実現時点を位置づけるはたらきをしている。すなわち、発話者は、Qの実現がPの実現時点の直後であることをそれらによって表している。Pが実現するやいなや間髪をいれずQが実現した（Pの終わりにQの始まりがつづいた）という解釈とPの実現の後にごくわずかな間隔をおいてQが実現したという解釈のどちらも可能であると考えられる。どちらであれ、PとQのあいだに認められるのは、「Pが実現した直後にQの実現があった」という、Pの実現時点がQの実現時点に先行する関係である。

次の(56)の主節には、やはりPの実現時点に対してQの実現時点を位置づけるはたらきをもつ副詞句 *au bout de quelques jours* が見られる。

- (56) Quand je suis entré en prison, j'ai compris au bout de quelques jours que je n'aimerais pas parler de cette partie de ma vie.

(A. Camus, *l'Étranger*, 2^e partie, ch. II)

発話者は、Qの実現がPの実現時点の数日後であったことをこの副詞句によって表している。Pの実現の後、数日の間隔をおいてQの実現があったわけで、PとQのあいだに認められるのは、Pの実現時点がQの実現時点に先行する関係である。

Pを前過去形で表す(57)、(58)は、Borillo (1988, 78, 84) が示す例である。また、Pを大過去形で表す(59)は、Riegel et al. (1994, 506) がPとQのあいだに継起的関係を認める例である。

- (57) Quand il eut parcouru quelques kilomètres, il s'arrêta.

- (58) Quand il eut traversé la rue, il s'assit sur le bord du trottoir.

- (59) Quand il était parti, nous étions tristes.

(57)、(58)では時況節に前過去形を用いているが、「数キロ走る」、「通りを横切る」という事行が完了している状態を表そうとしているのではなく⁽¹³⁾、発話者は、Pの実現のすぐ後にQの実現があったことを表していると

(13) 本稿では、「完了」を事行の展開が始めから終わりまで実現している段階・様相、つまり事行の全体が実現している段階・様相（いわゆる完了結果、完了状態）にノ

考えられる。すなわち、語りの世界における時間の流れのある点において「彼が数キロ走る」、「彼が道を横切る」という P が実現し、それぞれの直後に「彼が止まる」、「彼が歩道の縁に腰を下ろす」という Q の実現があったことを表していると考えられる。時況節に大過去形を用いる (59) の場合は、「いなくなる」という事行が完了している状態を表していると考えれば、P の時間幅が Q の時間幅に一致することになる。しかし、Riegel et al. と同じように、「彼がいなくなる」という P がある時点において実現した後に「私たちが悲しい」という Q の実現があったと考えることが P と Q の内容からすれば妥当であろう。

(49) – (59) のどの場合も、先行する P の時間幅の外側に後行する Q が位置づけられるのだから、「P の時間幅に Q が収まる」に明らかに該当しない。

4.2.2.2. P が Q に後行

まれに、P が Q に後行する関係を〈quand P, Q〉で表すこともあるようだ。Borillo (1988, 79) は、そのような例として (60), (61) を示している。

(60) Quand il se réveilla, le soleil avait disparu.

(61) Quand elle arriva, son secrétaire avait déjà fait une partie du travail.

発話者は、「彼が目を覚ます」、「彼女が着く」という P を短時間に実現した出来事として単純過去形で表している。そして、主節の「太陽が姿を消す」、「彼女の秘書が仕事の一部をすでにすませる」という Q を大過去形で表している。この Q を完了している事行を含む事態（一時的状態）ととらえれば、P と Q は同時ということになり、P の実現時点を Q の時間幅が含むことになる。しかし、Q が対応する P の実現時点に先行する（大過去形の先行用法）ととらえることもできる。その場合は、「彼は目を覚ましたがその前に太陽は姿を消した」、「彼女は着いたがその前に彼女の秘書が仕事の一部をすませた」

↘ ついて用いる。完了を動詞の単純形が表すことはないことになる。

という、Pの実現時点がQの実現時点に後行するという関係が認められることになる。

PがQに先行する(49)–(59)の場合も、Qに後行する(60)、(61)の場合も、Pの時間幅にQが収まるという関係に該当しないのは明らかである。

5. おわりに

本稿では、Pが展開(進行)しつつあった過去の事態である場合に〈quand IMP, Q〉の容認度が低いとされることがある理由を解明するための準備作業として、alors que P, tandis que P, comme P, pendant que Pの四つと比べつつquand Pのはたらきを検討した。

alors que Pとtandis que PはQに対立する事態を、comme PはQに類似の事態やQの理由である事態をそれぞれ表すことが多い。これらを時況節として用いるのは、あらたまった語りの文体や古めかしい文体の場合にかぎられ、まれである。pendant que Pは、時況節としての使用が中心であり、文体的な制約がない。これら四つの時況節の場合、Pは展開中の事態にほぼかぎられる。

quand Pについては、まず文体的な制約がないことが指摘できる。文学作品や研究文献・文法書その他の例を見ると、Pは展開中の事態だけでなく、短時間に実現した出来事のことでもあれば、一時的状態や人生のかなりの期間にわたった恒常的状态のことでもあり、きわめて多様であることが分かる。四つの時況節に用いる過去時制がほぼIMPにかぎられるのに対して、quand Pに用いるのは複合過去形、IMP・大過去形、単純過去形・前過去形などさまざまである。

PとQのあいだに認められる時間的關係は、四つの時況節の場合はPの時間幅にQが収まる「緊密な同時性」であるが、〈quand P, Q〉の場合はきわめて多様で「ゆるやかな同時性」である。実際、Pの時間幅にQが収まる関係だけでなく、Qが収まらない関係のこともあり、PとQのあいだに前後関

係が認められることさえある。ときには、(56)のように「ゆるやかな同時性」に該当しないとさえそうなる例も見られる⁽¹⁴⁾。

四つの時況節の場合、P はそれ自体では時間的位置を表さない。相手は、共有知識や先行文脈などから P の時間的位置が分かる場合を除けば、時況節を手がかりにして Q の時間的位置をとらえることができない。発話者は、P と Q のあいだの時間的關係 (= 緊密な同時性) を表すことに主眼をおいていて、P の時間的位置によって Q を時間的に位置づける意図はまったくないか、あっても弱いと考えられる。それに対して、*quand* P の場合は、発話者はなんらかのやりかたで相手におおよそその P の時間的位置が分かるようにし、それによって Q を時間的に位置づけようとしていると考えられる。

四つの時況節と *quand* P のはたらきに認められるこのようなちがいが (<*quand* IMP, Q) の容認度の評価にどのように関わるかは、現段階ではまだ十分に明らかになっていない。その点を解明するのが次の課題である。

主要参考文献

- Chétrit, J. (1976) *Syntaxe de la phrase complexe à subordonnée temporelle*, Klincksieck.
- Dupré, P. (1972) *Encyclopédie du bon français*, Trévise.
- Guimier, C. (2000) “Non-congruence et congruence: *alors que* vs *tandis que*”, *Syntaxe et sémantique* 1, 79-111.
- Hamad, B. L. (2015) “*Tandis que*, entre langue et discours “*L’Information grammaticale* 145, 38-44.
- 岩田早苗 (1997) 「フランス語の “*Quand + imparfait*” に関して」『関西フランス語 フランス文学』3, 67-75.
- Moline, E. (2006) “*Et comme minuit allait sonner, ... Pour en finir avec la partition temporelles vs causales*”, *Cahiers Chronos* 15, Rodopi, 63-90.
- 西村牧夫 (2011) 『中級フランス語 よみとく文法』, 白水社.
- Olsson, L. (1971) *Etude sur l’emploi des temps dans les propositions introduites*

(14) (56) は、P のある状況が Q の実現の場面・舞台であるという、時間的だけでなく関係を *quand* によって表す例とも考えられそうである。これについては、本稿では論じない。

par quand et lorsque et dans les propositions qui les complètent en français contemporain, Univ. d'Uppsala.

Riegel, M., J.-C. Pellat & R. Rioul (1994) *Grammaire méthodique du français*, PUF.

Sandfeld, Kr. (1977) *Syntaxe du français contemporain, Les propositions subordonnées*, Droz.

曾我祐典 (2018 a) 「間一髪の事態を表す『文頭語句+主節』」『フランス語学研究』52, 日本フランス語学会, 23-43.

曾我祐典 (2018 b) 「フランス語の半過去形と非完了アスペクト」『人文論究』68-1, 関西学院大学人文学会, 209-228.

Togeby, K. (1982), *Grammaire française*, t. II, Univ. de Copenhague.

高橋克欣 (2016) 『「こと」の認識「とき」の表現 フランス語の *quand* 節と半過去』, 京都大学学術出版会.

Vogeleer, S & W. de Mulder (1997) *Quand spécifique et point de vue*, *Cahiers Chronos* 3, Rodopi, 213-233.

——元文学部教授・名誉教授——